令和８年

冬の交通事故防止運動

実 施 要 綱



実施期間　１２月１１日（金）～１２月２０日（日）

スローガン　**「冬の道 時間の余裕とゆずり合い」**

目　　的

この運動は、年末が近づくと、人や車の動きが慌ただしくなるとともに、冬型の気候や飲酒機会の増加等により、交通事故の多発が懸念されることから、県民一人ひとりに交通ルールの遵守を習慣付けることにより、交通事故防止を図ることを目的とします。

運動の重点

①横断歩行者の交通事故防止
～渡るよサインの活用～

②飲酒運転の根絶

③冬道の安全走行



運動の進め方

県、市町村及び関係機関・団体は、相互に連携を密にして、それぞれの実情に即した具体的な実施計画を策定するとともに、積極的な広報・啓発活動を行い、県民の交通安全意識の高揚が図られるよう、実効的な運動を展開しましょう。

公益財団法人　柏崎地区交通安全協会

重点① 横断歩行者の交通事故防止 ～渡るよサインの活用～

ドライバーの皆さん

◎　新潟県内の令和７年中の歩行者事故の発生状況（下図参照）を見ると、**発生件数、負傷者数ともに最も多かったのは12月**で、年間の総数の**約20%**を占めています。



◎　12月は日没時間が早く、夕暮れ時から夜間にかけて歩行者の発見が遅れやすくなります。歩行者事故を防ぐため、ドライバーの皆さんは、周囲の状況を十分に確認し、安全運転を心がけましょう。

◎　歩行者や他の車両に自分の存在を知らせるためにも、日の入り前からライトを点灯することが大切です。ハイビーム（上向き）とロービーム（下向き）を適切に切り替え、横断歩行者等の周囲の状況を早めに把握するように心がけましょう。

歩行者の皆さん

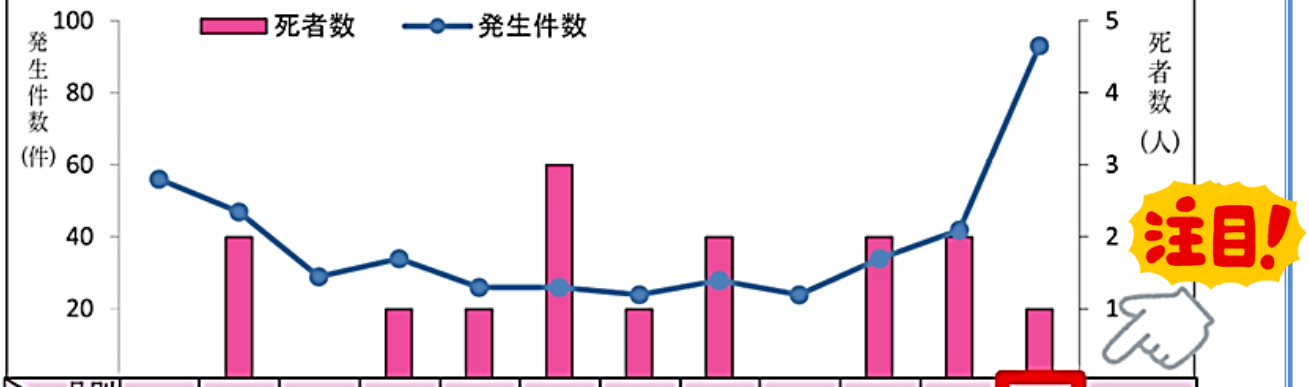
◎　冬の新潟県は、日照時間が短く、さらに降雪によってドライバーの視界も悪くなりがちです。外を歩く時は、明るい色の服装を心がけるとともに、タスキ等の夜光反射材を身に着けましょう。
　また、**防寒着にあらかじめ夜光反射材がついているタイプ**を選んで着るのも効果的です。ドライバーから早く発見してもらえるよう、「明るい服装」と「夜光反射材」で、自身の存在を知らせましょう。



◎　道路を横断する時は「渡るよサイン」（※）で周囲に道路横断の意思を示すとともに、横断前に左右の安全確認はもちろん、横断中も車が近づいて来ないか確認しましょう。

※「渡るよサイン」とは、手を上げる、目で合図を送るなど、歩行者がドライバーに横断意思を伝える様々な動作の総称を言います。

★歩行者事故の発生状況　※新潟県警察ホームページより抜粋



区分＼月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
発生件数	56	47	29	34	26	26	24	28	24	34	42	93	463
死者数		2		1	1	3	1	2		2	2	1	15
負傷者数	59	46	29	33	25	23	24	26	24	32	42	96	459

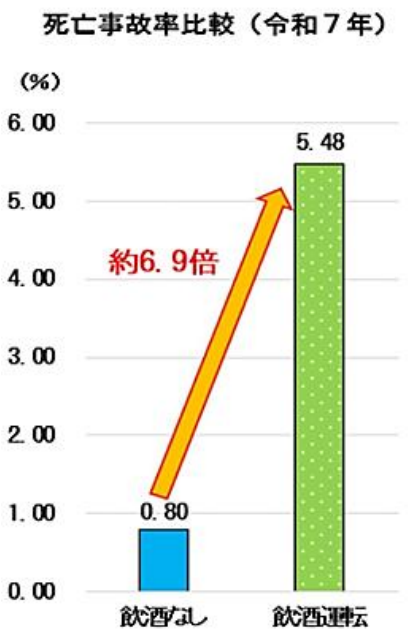
重点② 飲酒運転の根絶

飲酒運転は重大な犯罪です

◎　全国の飲酒運転による交通死亡事故率を見ると、飲酒していない場合と比べて約６．９倍も高く、飲酒運転が極めて危険で悪質な行為であることが分かります。
　飲酒運転による悲惨な交通事故は後を絶ちません。**「飲酒運転はしない、させない」**を合言葉に、一人ひとりが飲酒運転の根絶に向けた取組を徹底しましょう。

◎　二日酔いの状態で車を運転することも飲酒運転に該当します。
　アルコールは、簡単に体内から抜けません。
　適切な飲酒を心がけ、翌朝、「体調が優れない」等の違和感がある場合は、車の運転を控え、家族の送迎や公共交通機関等を利用しましょう。

飲酒運転の死亡事故率　約６.９倍



※警察庁ホームページより抜粋

重点③ 冬道の安全走行

冬道走行のポイント

１．　発進前の準備

　車の屋根やボンネット等に積もった雪は必ず下ろしましょう。
　また、窓ガラスが曇ったままの走行は大変危険です。
　車に積もった雪を落とし、窓ガラスの曇りを取るなど、しっかりと視界を確保してから出発しましょう。



２．　スリップさせない

　車をスリップさせる**主な原因は、「速度の出し過ぎ・急発進・急ブレーキ・急ハンドル」**です。
　冬道では、走り慣れた道でも、普段と同じ速度で走行すると、「曲がり切れない」「止まれない」といった危険につながります。減速時や停止する際には、優しくブレーキを踏んで速度を調節し、車をスリップさせないようにしましょう。

３．　交差点や横断歩道手前での注意

　降雪や積雪により視界が悪くなるため、交差点や横断歩道付近では、周囲の状況に十分注意し、前車との車間距離を十分に保ち、前車の動きにも注意しましょう。
　他車の急ブレーキや割り込みによる追突事故、急なブレーキ操作によるスリップ事故を防ぐため、早めにウインカーを出し、余裕をもってブレーキをかけるなど、後続車に 自車の動きを早めに知らせましょう。

通年運動

止まって！横断歩道キャンペーン

取組重点期間　１２月１１日(金)～１２月２０日(日)

◎　横断歩行者がいないことが明らかな場合を除き、横断歩道の手前で停止できるように減速、横断歩道付近の歩行者の動きに注意することは運転手の義務です。横断者や横断しようとする人がいる時は**必ず横断歩道の手前で一時停止**しましょう。



「ハンドルキーパー運動」

「ハンドルキーパー運動」とは、自動車で仲間と飲食店などへ行く場合に、お酒を飲まない人（ハンドルキーパー）を決め、その人が仲間を自宅まで送り届ける運動です。



冬の交通事故防止運動～主な活動内容～

1．　飲酒運転根絶のための飲食店訪問（予定）
2．　ポスターの掲示・飲酒運転防止ちらし配布（関係機関）
3．　優良・優秀運転者表彰申請受付（各地区・事業所）
4．　ホームページによる広報

